

鳴子温泉地域

統合準備委員会ニュース

令和6年5月発行

—未来を担う子どもたちの教育環境の充実を目指して—

編集発行：学校教育環境整備推進室

問合せ先：大崎市教育委員会 教育総務課

TEL：23-2211

FAX：23-1011

メール：ed-soumu@city.osaki.miyagi.jp



～統合校の「校歌」「制服・運動着・カバン」決定～

鳴子温泉地域の学校統合に関する「第5回統合準備委員会」が、3月26日（火）に鳴子公民館ホールを会場に開催されました。総務部会から提出された承認事項案件、新設する義務教育学校の「校歌」について議論いただきました。前回の決定事項「現在の鳴子中学校の校歌を使用し、校名部分のみを変更する」について、作詞・作曲の方々にご協力いただき一部変更した校歌を試聴し承認いただきました。

決定した「鳴子小中学校 校歌」

鳴子小中学校校歌

作詞 岡田 彩奈
作曲 大山 誠一
編曲 内藤 淳一

一 鮮やかに 季節を彩る山川に

真の心育まれ

友情 信頼 胸に抱き

互いに信じる 道に向かって

二 古の歌人 旅した湯の里に

歴史の扉 開くとき

生命を照らす太陽のように

人を愛する強い心で

三 風薫り 緑あふれる学舎に

希望の光 満ちてゆく

無限に広がる可能性を信じ

未来へと羽ばたけ 夢を乗せて

未来へと羽ばたけ 鳴子小中学校

【承認事項(総務部会)】

<制服・運動着等の詳細仕様について>

①制服・運動着：現行デザイン（鳴子中学校）から一部変更 ②カバン：現行品（鳴子中学校）を採用

<変更点>

①制服のボタンのデザイン



※ C . E . SCHOOL

⇒ compulsory education school

（義務教育学校）の略

③運動着（長袖・半袖）のロゴデザイン



②制服の三本線の意味



（新たな意味）鳴子中学校，川渡中学校，鬼首中学校の3つの中学校が統合して鳴子中学校となり，更に，鳴子小学校，川渡小学校，鬼首小学校の3つの小学校が加わり鳴子小中学校となった。

④運動着（半袖）の色

・白色から紺色へ変更

*運動着のズボンとハーフパンツは変更なし

【報告に対する主な質問と意見】

- 半袖シャツの色が紺色へ変更とのことですが、自然光だとYシャツから透ける可能性があるの確認したい。もし透けてしまうのであれば、もう少し薄い色に出来ないのかと思いました。
⇒Yシャツから紺色が透けて見えることよりも下着が透けないことを優先した方が良いという意見と、白は年数が経つと黄ばむということもあり、総務部会で紺色にしたという経緯があります。
- 制服についてB仕様は女子とのお話でしたが、女子は2着持つという解釈でよろしいでしょうか。
⇒ジェンダーレスを目的にして2種類作っていますので、両方を購入する方もいるかもしれませんが、希望によってスカートとスラックスのどちらかの購入を選択していただくようになります。

【協議事項】

＜新たに制作した校歌を試聴し協議＞

＜委員長＞校歌については提案いただいた内容でよろしいでしょうか。 ○（委員全員）異議なし

【その他でいただいた主な質問と意見】

- これまでの協議内容について広報などで確認をする人もいれば、本当に7年度に統合するのかという保護者もいますので4月以降に説明会など行う予定はあるのでしょうか。
⇒これまでの学校統合の際は、具体的な協議に入ってから説明会は実施していませんでした。会議内容については学校を通して保護者へ説明を行い、行政区長配布で準備委員会ニュースを全戸配布しています。説明会については検討事項として預からさせていただきます。
- 統合について分からない人がいるということで、まちづくり協議会でもこれまでの協議内容についてまとめたものを全戸配布させていただきました。
- ＜鳴子温泉地域の学童保育について…子育て支援課から＞
 - ・現状は鳴子小学校（放課後児童クラブ）と川渡児童館（学童保育）の2つの形態で実施している。
 - ・現在実施場所の情報収集をしており、候補地としては鳴子中学校内の施設を第一に川渡児童館、川渡公民館と範囲を広げて考えている。
 - ・新年度早々に学童を利用している家庭や今後学童を希望する未就学児の親御さんへアンケートを実施し、その結果を踏まえて実施場所や運営形態を決めていく。
- 現状の2つの学童を1つにする方向で検討するということでしょうか。
⇒現在鳴子小学校で行っている放課後児童クラブは実施せずに1か所で実施する方向で考えています。
- 7年から統合となりますが、いつから開始する予定なのか。
⇒統合の時期に合わせてというところで考えていますが、今後のアンケートを見ながら開始時期について検討いたします。
- 鳴子小学校の児童クラブは有料、川渡小学校の学童保育が無料で、運営の主体が市直轄と委託によって違うということにも驚きました。これは今後も継続できるのかお示しいただきたい。
⇒これまで統合した中で、片方が市の直営、片方が委託というケースは無く、鳴子温泉地域が独自の形態です。直営の場合は使用料は必要になりますので、その部分も併せて方向性が決まり次第周知させていただきます。
- 先ほどから学童に関する質問が多々あり、方向性は決まっていないという回答ですが、この委員会が立ち上がった時から話は出ており1年間何も進んでいません。1年後に統合となればこういうスケジュールでやっていきますというのを次回に示していただかないと安心して統合出来ずとはならない。全部遅れていきますよ。そういったことを考えてやっていただかないと親として安心できないのでもう少しスピード感を持ってやっていただきたい。
- あと1年しか無いということで、絶対に遅れないようにするためには、もうやらなければならないですし、保護者から意見を聞きながらすぐにでも方向性などを出していただきたい。また、次回にスケジュールを出さないにしても、子育て支援課にもう一度出席いただきたい。
- バスは増便になると思いますが、バスが駐車場所に停まってから学校までの動線はどうなりますか。
⇒基本的にはバスの停留所として広いスペースを確保し、舗装をして、そこに停車して歩いていくことになると思いますが、その点は次回の会議でお示しする予定です。古川西部地区でも安全に登校できるかシュミレーションさせていただいたので、それを含めてやっていくようになると思います。